

令和7年度 自己評価結果公表

浄元福祉会くわこぼ保育園

1、評価項目の達成および取組状況 * 実行しているもの ●改善していきたい点

評価基準 1. よくできている (85%) 2. まあまあできている (65%) 3. あまりできていない (50%) 4. 全くできていない (25%)		
評価項目	取 組 状 況	評価点
保育の計画性	*一年間通して各クラスのテーマを子どもたちと見つけ、それを掘り下げていくことで子ども同士話し合ったり変化や今まで目に留まらなかったことに気づいたりできている。 ●外遊びや体作り等年間計画も必要	1.98
保育の在り方 幼児への対応	*子どもの自主性を考え、各保育士幼児への対応を考え子どもの意見を取り入れた保育へ変わっていった。 ●もっと子ども目線、子どもの思いに寄り添える場面をより増やす	1.59
地域の自然や社会とのかかわり	*野菜栽培や小動物の世話、虫取りなどで自然に親しみ、造形などにも取り入れて楽しんでいる。地域の老人の方も園の行事に参加して頂き交流も盛ん。小学校の先生方とも架け橋プログラム作りを一緒に行った。 ●自然を生かした遊びを計画し、より深めていきたい。散歩の回数を増やし地域の方との触れ合いも増やしていく。	2.28
保育者としての資質 や能力・良識・適正	*各クラス、またクラス内でも職員の保育内容、園児について話し合いや報告が良くされ情報は共有されている。また子ども目線で物事をとらえ子どもとの興味の共有に心掛けている。 ●文化面は充実してきたが、運動面もより充実させていきたい	2.27
保護者への対応 守秘義務	*その日の出来事や成長している面、困っている面など信頼関係を作りながら毎日行っている。 ●困り感を持っている園児の保護者への相談には伝えかたの配慮が必要	1.72
保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	*キャリアアップ研修、障害児研修、巡回相談による研修、園内研修、また公開保育等の研修を重ねながら研鑽を積んでいる ●・幅広い深い幼児教育を今後も学び続けていく。	1.95
地域における子育て支援	*地域交流会で地域の老人の方と演技披露、手遊び、会食をしたり園の行事を見に来て頂いたりして交流をして喜んでいただいた。また誰でも通園制度を行い未就園児も預かったりし、園の経験、またお母さんの安心にへとつなげる。 ●散歩や地域行事などの参加でより地域の方との触れ合いを深める	2.1

2、園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び改善したい点

・保護者様からも一人一人その日の出来事や様子を伝えてもらい有難いと評価して頂き、保育士もそれぞれの園児を良く見ており職員全員で共有している。子ども達との話し合いで行事や内容も決めて行うことで、トラブルも自ら話し合いで解決している。また自分の思いを言葉や絵や造形で表現するのもうまくなっている。 ・文化面がすごく伸びている面、運行面、野外活動面の充実はもっと深めていきたい。 ・困り感のある子、障害のある子への専門的な対応の充実も今後、深めなければならないと思う。	1.98
---	------